

定しているが、ピンネ農業公社単独では行わない。

国営樺戸地区土地改良事業地元負担金は、今回分で終了か。

樺戸地区については、平成24、25年度の合計分を1回で繰り上げ償還するため終了となる。樺戸二期地区については、事業完了の翌年度に1回の繰り上げ償還の予定。国営樺戸地区土地改良事業地元負担金の繰り上げ償還による地方債（約6億円）の利息負担は。

過疎債を使うので交付税措置があるためメリットがある。

農業基盤整備事業はいつ終わるのか。

新南部と新西部は平成28年度、新北部は平成29年度で、新北部が終わると完了。

緑の少年団活動費の予算計上がなくなったのは。

大和地区の小学生の児童数が減少し、独自の活動が出来なくなったため。

有害鳥獣駆除対策事業費が160万円増額されたのは。

平成25年度はエゾシカ40頭で予算計上したが、84頭

が駆除されたため補正予算で対応。平成26年度は70頭分を見込んで計上した。

有害鳥獣の被害額は。

平成23年は被害面積12haで1285万5千円、平成24年は被害面積12haで1293万3千円の被害があった。

キツネは野ネズミの天敵なので、必ずしも有害鳥獣ではないと思うが。

駆除については、河川や住宅地等に出没するキツネを対象としている。

町内の森林活用のため、木材に関する産業の育成を検討しているか。

現在本町に木材加工所は無いが、町内業者で間伐材等を利用してチップを生産する新規事業を計画していると聞いている。

森林整備担い手対策の対象者は毎年同じなのでは。

対象者は毎年替わっている。

### ▼商工費

スタンプラリー抽選会とプレミアム商品券の効果の違いは。

スタンプラリー抽選会

では、利用店の片寄りが緩和され、幅広く数多くの商店が利用される。

グリーンパークに980万円の補助金を交付しているが、観光への波及効果はどの程度あるのか。

平成25年度1月末現在で、日帰り入浴者6万1792人、宿泊者8709人の利用がある。

グリーンパークへの温泉加温に対する補助金の基準は。

温泉を加温するための燃料費の半額を補助している。

高校生農業体験学習での予算の用途は。

高校生農業体験学習事業には30万円予算計上し、タオルや軍手等のグッズを配布して、新十津川町のPRに活用する予定。

振興公社の役割は。

町の方針に沿った形で、町内観光推進と特産品等を町内外にPRする。

### ▼土木費

みどり区内の堆雪場の搬入経路に関して、区民の了解は。

みどり区内の堆雪場の搬入経路に関して、区民の了解は。

2経路について交通量、運搬量により検討中。住民説明会を開催した中で、堆雪場の安全対策の要望もあり検討している。

除雪費が前年と比較して増えた要因は。

人件費、作業労賃の増。昨年6月に14%、今年2月に7%、作業労賃単価がアップした。

除排雪に係る人材の確保は。

数年前から確保は困難な状況。オペレーターの育成にも努めており、除雪ダンプの数を増やして、少ない人員で効果的な計画を立てて実施している。

旧宮前区の神社前は、町の排雪路線になっておらず、住民が対応している。燃料代の助成はできないか。

生活路線、住宅密集度等を勘案して、必要なら除排雪を実施していくが、地域の住民主体で実施できるのなら地域でしていく必要もあるのではないかと。町の除雪がどうあるべきかを検討していかなくてはならないと考える。

橋梁の長寿命化計画は。

本町管理133橋について計画策定した。今後10年間で23橋を順次修繕していく。南幌加橋は調査設計が終われば補正予算で工事着手したい。

工事の発注時期を早める。

通行規制や営農への支障、交付金の決定など諸問題があるため、一概に早められない。

団地内などの舗装改修改良工事が行われる基準は。

町の職員が1、2年かけて点検し、6、7年分の事業計画を立てた中で実施する。

石狩川築堤工事の進捗状況は。

花月の一部、石狩川上流は未実施。年内には地権者



町内排雪作業